

令和4年3月15日

福井市企業管理者 前田 和宏 様

福井市下水道事業経営戦略策定審議委員会

委員長 南 保 勝

福井市下水道事業経営戦略の改定について（提言）

福井市下水道事業経営戦略（以下「本経営戦略」という。）は、本市における下水道事業の中長期的な経営の基本計画であり、今後の経営環境の変化に適切に対応し、将来にわたって安定的に事業を継続していくために、投資計画や財政計画、経営基盤強化の取組などを定めています。

本経営戦略の改定について、当委員会では、事務局から提出された資料をもとに、4回にわたり会議を開催し、慎重に審議を重ねてまいりました。

今後の事業運営にあたっては、審議の過程で各委員から出された意見や、次に示す提言の内容を踏まえたうえで、本経営戦略に掲げた施策の着実な取組をお願いします。

# 提 言

市民に対し安全・安心な下水道サービスを将来にわたって、安定的・効率的に提供することができるよう、また、本経営戦略を通して、市民も下水道サービスについて十分に理解し、行政と市民の双方向で情報や技術などを共有しながら事業を進めていけるよう、当委員会は、次のとおり提言する。

## 1 持続的な下水道機能の確保

福井市は、全国的にも早期に下水道事業に着手したことから、施設の老朽化が進んでおり、将来にわたって安定した下水道サービスを提供していくためにも、施設の健全性を維持していくことが重要である。

今後は、「福井市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、定期的に施設の点検・調査を行い、不具合の発生を未然に防止するとともに、計画的な修繕・改築により、ライフサイクルコストの低減とインフラ機能の維持に努めていただきたい。

併せて、下水道施設の適正な維持管理の向上に向けて、人員配置の適正化や技術継承の充実に努めていただきたい。

## 2 下水道事業の見える化

下水道をはじめとするライフラインは、生活に直結しているものの、市民にとってサービス内容が見えにくい存在となっている。そのため、市民に関心を持ってもらえるよう、あらゆる媒体を活用しながら下水道の担う役割や課題、魅力などを積極的に発信していく必要がある。

さらに、市民に対し、より丁寧で分かりやすい説明を行い、下水道事業の経営にも関心を持ってもらえるよう努めていただきたい。

## 3 適正な使用料体系の検証

当委員会は、本経営戦略期間内での使用料改定の必要性は、現時点では低いと結論付けたところである。

しかしながら、人口減少や社会構造の変化等により、下水道使用料収入は減少傾向が続いており、下水道事業を取り巻く経営環境はますます厳しい状況になることが予測される。

今後も、本経営戦略に定めた事業を着実に推進していくため、中長期的な財政のシミュレーションを行い、経営状況を的確に把握し、一層の効率化を図りながら、適正な使用料のあり方について定期的に検証を行っていただきたい。